

県・市町村における取組状況

市町村における取組

市町村における取組（令和8年度）①

○鉄道の利便性向上（二次交通の整備を含む）

市町村	事業名	実施主体	事業内容
玉野市	外国人観光客案内業務	玉野市	外国人観光客に対する受け入れ環境の整備として、宇野駅前デジタルサイネージの多言語対応等を行う。
玉野市	宇野線利用促進対策事業	宇野線利用促進対策協議会（玉野商工会議所内）	・時刻表のほか、駅周辺の観光マップ、接続するコミュニティ交通などの情報をHP等で発信し、利用促進を図る。 ・JR乗り方教室の開催
井原市	井原線利用団体無料観光バス運行事業	井原市	鉄道井原線を利用し、市外から本市を訪れる10名以上の団体観光客に対し、井原駅から観光地までの交通手段として無料観光バスを運行するもの。また、井原市内で行われるイベントの際には、井原駅からイベント会場間の1往復について無料運行するもの。
新見市	芸備線利用促進事業	新見市	市内の芸備線各駅へのアクセスを改善するため、市営バスの増便・時刻変更や、乗合タクシー試験運行を引き続き実施する。
備前市	ひなせかきPR事業	ひなせかき祭実行委員会	ひなせかき祭においてJR日生駅前から会場の五味の市までを無料のシャトル船を運航予定。また、日生病院前から日生認定こども園前、頭島市営P間でシャトルバスを運行予定。
瀬戸内市	瀬戸内市営バス事業	瀬戸内市	瀬戸内市営バスの路線の見直しや増便を行い、JRと接続した2次交通の利便性の向上を行った。
瀬戸内市	刀剣博物館シャトルバス事業	瀬戸内市	国宝 山鳥毛の展示期間に併せ、JR長船駅から博物館までの無料シャトルバスを運行した。
瀬戸内市	観光定期バス事業	瀬戸内市	JR駅から離れた観光拠点をつなぐ観光定期バスを新設予定。
瀬戸内市	パークアンドライド促進事業	瀬戸内市	岡山駅前商業施設と瀬戸内市営駐車場との提携を行い、パークアンドライドの促進を図った。
瀬戸内市	カーシェアリング導入実証事業	瀬戸内市	JR邑久駅前、JR長船駅前に2台ずつカーシェアを設置し、2次交通としての有用性検証を行っていく。
赤磐市	赤磐市鉄道利用促進事業	赤磐市	・広域路線バス（赤磐・和気線）の和気駅との接続便数を増便し、鉄道との接続強化をすることで利用促進を図るもの。

市町村における取組（令和8年度）②

○利用助成

市町村	事業名	実施主体	事業内容
井原市	利用促進活動補助事業	井原線振興対策協議会	5人以上の団体または貸切で井原線を有料で利用した場合乗車料金・貸切価格の一部を助成するもの（補助率：1/2）。 ①5人以上の団体（上限10,000円）②貸切（上限20,000円）
高梁市	高梁市高等学校生徒鉄道通学費補助事業	高梁市	高梁市内の高校に鉄道を利用し通学定期券を使用して通学する高校生に、通学定期券購入費用の一部（定期券購入費用の1/4、年度内3万円まで）を補助することにより、鉄道の利用促進を図る。
新見市	高校魅力化推進事業	新見市	保護者の負担を軽減し、市内高校の魅力向上を図るため、公共交通機関で通学している生徒に定期券購入の半額を助成する。（ただし、令和7年度以降入学生は対象外のため、本年度が最終年度）
備前市	備前緑陽高等学校サポート事業	備前市	公共交通機関を利用して通学する生徒の通学定期券購入費用の2分の1を助成する。（※定期券助成以外にも他費用に対する助成あり）
赤磐市	高等学校等通学費補助金交付事業	赤磐市	・高校通学費用の保護者負担の軽減を図り、公共交通機関の利用促進につなげるため、通学補助金（運賃の4分の1相当額）を支給する。
真庭市	姫新線社会学習補助事業	真庭市	JR姫新線を活用した社会学習を実施する学校等に対し、乗車券購入費を全額、駅までの移動手段に係る費用の1/2（上限5万円）を補助
吉備中央町	高校生通学費等補助金交付事業	吉備中央町	町内から生徒の通学する高等学校等までの間を路線バス又は電車で通学し、定期券等を購入する場合、定期券等の購入費用を2分の1を補助する。

市町村における取組（令和8年度）③

○イベント、キャンペーンなど

市町村	事業名	実施主体	事業内容
津山市	公共交通の乗り方教室	津山市	鉄道等の乗車方法等の説明や実際に鉄道等に乗りし、観光地等を周遊してみるなど公共交通利用の機運醸成を図り、利用促進につなげるもの。
玉野市	観光客受入対策事業	瀬戸内国際芸術祭たまの☆おもてなし推進委員会	瀬戸内国際芸術祭作品 小沢敦志「舟底の記憶」のメンテナンスに伴うワークショップイベントを開催。
井原市	井原線感謝デー	井原線振興対策協議会	井原鉄道(株)との共催により、「井原線感謝デー～1日乗り放題＆わくわくスタンプラリー～」を令和9年1月10日(日)に開催予定。
井原市	井原線の魅力向上事業	井原線振興対策協議会	井原線の魅力を向上し、利用促進に繋げるため、次の事業を実施予定。 ①井原線こども絵画コンテスト ②城めぐりスタンプラリー
井原市	井原線沿線周遊モデルコース開拓事業	井原線沿線観光連盟	井原線沿線外からの観光客誘致の増大を図ることを目的とした井原線沿線周遊モデルコースを開拓するための事業を行う。
総社市 高梁市 新見市	伯備線沿線3市(総社市・高梁市・新見市)観光連携協議会での誘客事業	伯備線沿線3市(総社市・高梁市・新見市)観光連携協議会	伯備線沿線の総社市・高梁市・新見市が連携し、鉄道関係をはじめとする観光誘客事業を実施する。
高梁市	銀河おもてなし事業	高梁市	「WEST EXPRESS 銀河(山陰ルート)」の備中高梁駅への停車に伴い、高梁の魅力向上、再訪動機に結びつけるため、おもてなしを近隣自治体や関係団体と連携し実施する。
高梁市	撮り鉄マナーアップ事業	高梁市・総社市・新見市	伯備線沿線3市(総社市・高梁市・新見市)観光連携協議会事業として、JRと連携を図りながら、撮り鉄の方のマナーアップクイズやスタンプラリー等を開催する。

市町村における取組（令和8年度）④

○イベント、キャンペーンなど

市町村	事業名	実施主体	事業内容
新見市	新見市鉄道利用促進事業	新見市鉄道利用促進協議会	官民連携組織である新見市鉄道利用促進協議会において、鉄道利用者の中から抽選で賞品を贈る利用促進への取組、近隣自治体と連携したイベントの開催、新見市オリジナルICOCAを活用した利用促進、新見駅と連携した取組などを行う。
新見市	新見市公募型鉄道利用促進事業	新見市	民間と行政の知恵と力を合わせ、市民と協働による利用促進を図るため、市民団体等から企画実施する事業を公募し、提案団体へ委託して実施する。
新見市	鉄道を利用した観光振興アドバイザー事業	新見市	鉄道カメラマン坪内政美氏と鉄道を利用した観光振興アドバイザー契約を結んでおり、氏の知見を活かし、鉄道利用促進や観光振興につながる事業を実施する。
備前市	備前片上ひなめぐりPR	備前片上ひなめぐり実行委員会	片上商店街（JR赤穂線・西片上駅すぐ）にて「備前片上ひなめぐり」を実施（26回目の開催）予定。広報時には広くJRの利用を呼びかける。
備前市	備前焼振興事業	備前焼まつり実行委員会	主にJR伊部駅周辺の作家・窯元が協力店として参加する「備前焼まつり」を春秋の計2回開催予定
備前市	広域連携事業	JR赤穂線沿線地域活性化連絡会議	令和7年度に作成したSNSアカウントを利用し、JR赤穂線沿線地域の魅力をショート動画で発信する。また、SNSフォトコンテストを開催する。
備前市	広域連携事業	JR赤穂線沿線地域活性化連絡会議	例年同様かきシーズンにおいてJR赤穂線沿線地域の牡蠣のプロモーションを実施する。
備前市	広域連携事業	東備西播定住自立圏域JR利用促進協議会	JRを利用した際の写真をInstagramで投稿してもらうフォトコンテストを実施し、利用促進を図る。

市町村における取組（令和８年度）⑤

○イベント、キャンペーンなど

市町村	事業名	実施主体	事業内容
真庭市	まに鉄フェスタ	真庭市	市内駅前にて、鉄道利用意識の醸成、鉄道関係人口の増加につなげるイベントを開催
真庭市	姫新線で行く親子社会見学ツアー	真庭市	鉄道利用者層となる前の年齢層（小学生以下）とその保護者を対象とするツアー。鉄道を交通手段として活用し、鉄道利用意識の醸成へつなげる。
真庭市	姫新線イベントアイデア募集	真庭市	姫新線を利用するイベント、活性化させるアイデアの募集キャンペーンをおこない、姫新線について考える・知る機会を創造する。寄せられたアイデアを今後の鉄道利用促進事業の参考とする。選考上位に地域ポイントを付与する。
真庭市	株主優待活用事業	真庭市	株主優待鉄道割引券などの優待券を活用した移動支援等をおこなう事業。鉄道への関心人口増加、鉄道を移動手段として利用する意識醸成を図る。実施件名：「真庭こども広域学習応援」
真庭市	地域ポイントキャンペーン	真庭市	市内駅移動で地域ポイントを付与する期間限定キャンペーン
美作市	公共交通機関利用促進事業	美作市	岡山県美作ラグビーサッカー場で行われる岡山湯郷ベルのホームゲーム観戦と、JR利用を組み合わせ鉄道利用の促進を図る。
勝央町	環境整備	勝間田高校	地元勝間田高校の生徒による清掃活動、花プランター設置などを実施。
勝央町	JR利用促進チラシの掲示・広報	勝央町	作成した鉄道の日常利用を呼び掛けるチラシを、勝間田駅等に設置し利用促進を図る。
勝央町	鉄道の利用促進（PR）	勝央町	広報紙等で、町内循環バスのダイヤ見直しに合わせた鉄道の日常利用を呼び掛ける。

県における取組

地域公共交通維持確保支援事業

＜R8 予算額＞55,000千円

市町村等が行う地域の実情を踏まえた交通手段の導入や、公共交通の利便性向上のための取組に対する補助

＜補助対象経費＞

- 1 地域内交通（バス・デマンド交通等）の維持・確保に関するもの
- 2 重点的に支援するもの

事業区分	補助対象経費	補助率	補助限度額
(エ) 地域公共交通計画 策定支援事業	・ 地域公共交通計画の新規策定	1 / 2 以内	2,500千円
(オ) 鉄道利用促進事業	・ 鉄道の利用促進に係るもの (環境改善事業を除く)	1 / 2 以内	2,500千円
(カ) DX推進事業	・ 地域公共交通のDXの推進に係るもの	1 / 2 以内	2,500千円
交付上限額			5,000千円

■公共交通利用促進プロモーション事業

公共交通の利用促進を図るため、利用機運を醸成する啓発事業を実施するとともに、利用のきっかけを作り、日常利用へつなげるキャンペーン事業を実施予定

【啓発事業】

- ・公共交通を利用するメリットをわかりやすく伝えるコンテンツを作成し、各種広報媒体を活用した情報発信を実施

【キャンペーン事業】

- ・公共交通を利用することでポイントを貯め、貯まったポイントに応じたプレゼントに応募できるキャンペーンを実施

【イベント出展】

- ・多くの人で賑わうイベントにブース出展し、クイズイベント等を実施して 公共交通利用の啓発を行う

